令和4年度

科目名	宗教学	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 必修/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 必修
担当教員	福島　寅太郎		
開講期	Ⅰ		
授業概要	〔授業の目的・ねらい〕☒ ①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。☒ ②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。☒ 〔授業の概要〕☒ 本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。☒ 宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。☒ 本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。☒ 本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。☒ 授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。☒ 位置づけ・水準:GC1101		
達成目標	〔到達目標〕☒ ①宗教学的“ものの見方”を理解する。☒ ②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。☒ ③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。☒ 単位認定の最低基準は:は「内容の7割以上を理解していること」☒ DPとの関係: 個の確立、人間形成		
受講資格	特になし	成績評価 方法	試験成績60点、授業における発表20%、授業における参加態度20%など。理解度８割で、合とする。
教科書	特に指定していないが、途中から必要に応じて指定する場合がある。その場合は事前に詳細を知らせる。		
参考書	特になし		
学生への要望	ノートをこまめにとること。		
オフィスタイム	月曜日から金曜日（火曜日を除く）昼休みの時(12時～12時40分)。担当教員の研究室（創学館No.５）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。	初回に当たり、とくになし。	1.5
2	生活と宗教（1）ー禅の教えと歴史	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて、配布プリントを参考にしながら述べる。アップルの創始者・ジョブツ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしながら、生活における禅の役割を考える。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
3	生活と宗教（2）ー生活の中の「禅」	前回の続き。配布予定のプリントに沿って、禅とは何かを、身近な話題を通して考える。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
4	生活と宗教（3）ー「生活禅」とは何か	「生活禅」とは何か。配布予定のプリントを通して学びながら、一緒に考えてみる。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
5	生活と宗教（4）ーだるまさん・ダルマと達磨	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがあろう。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達摩さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
6	生活と宗教（5）ー般若心経	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
7	生活と宗教（6）ーこころと心	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にするものである。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
8	生活と宗教（7）ー禅マンガについて	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	生活と宗教（８）ー宗教における悩みの対処法	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、配布予定のプリントを参考にしながら理解する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
10	生活と宗教（９）ーアニメにおける宗教的要素　其の一	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。☒	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
11	生活と宗教（１０）ーアニメにおける宗教的要素　其の二	前回の続き。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
12	生活と宗教（１１）ー生活と宗教との関わり　其の一	「生活の中で修行し、修行の中で生活する」というの言葉の意味を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
13	生活と宗教（１２）ー生活と宗教との関わり　其の二	前回の続き。「人間らしく生きるためにはどうしたらいいか」「人間の本質とは何か」などの問題について、配布予定のプリントを参考にしつつ考えてみる。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
14	生活と宗教（１３）ーまとめ	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
15	最終回ーまとめ其②	授業の内容を踏まえつつ、本学の建学精神である「尊敬・責任・自由」の意義を再び考えてみることにする。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5

令和4年度

科目名	哲学・倫理学	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	関川　悦雄		
開講期	II		
授業概要	本授業のねらいは、人間とは何ぞや、あるいは人間の生き方・あり方は何か、あるいは物事の善悪とは何か、について自分で考えてみようという点にあります。授業内容がむずかしいように見えるでしょうが、難解な概念や原理・語句をいかに平易な言葉で語るか、が課題になります。そこで、哲学の講義では、高校時代にすでに耳にしている人物、たとえばプラトン・デカルト・ルソー・カント・ヘーゲル・フロイトらを取り上げます。倫理学の講義では、ふだんよく自身の行動における迷いや善悪や愛や生命力などの事柄を取り上げます。むろん、平易に書かれているテキスト２冊を使用します。なお、この講義専用のノートを用意して、それに講義内容を予習・復習の形で記述の形で記述して貰いますが、それに対するフィードバック（評価）は行います。位置づけ・水準はGC1102です。		
達成目標	1　各哲学者の考え・思想をまとめ、理解できること。☒ 2　倫理学上の事柄―欲求や能力、よさや良心、弱さや悪、尊重や共感の倫理的意味、愛の意味、生命をめぐる倫理的問いなどを理解できること。☒ 3　思想的・倫理的な考えを説明し、論述することができること。これら三つの学修によって、ディプロマ・ポリシーに掲げられている「個の確立」と「人間形成」が図られることが期待できる。また、単位認定の最低基準は、これら三項目の７割程度理解し、活用できることである。		
受講資格	特にないが、第１週目の授業は重要なガイダンスを行う。	**成績評価 方法**	毎回ワークシートを使用し、毎回教科書（テキスト）を使いつつこのワークシートの内容空欄を埋め、どこかで必ず１回は発表して10点とし、自作ノートの作成で10点とする。評価はこれら二つを含めて、学期末のまとめ作成の80点とし、合計100点とする。
教科書	竹田青嗣・現象学研究会『知識ゼロからの哲学入門』（幻冬舎）。藤野寛『高校生と大学一年生のための倫理学講義』（ナカニシヤ出版）。		
参考書	特になし。		
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を要望する。この講義専用のノートを用意すること。		
オフィスタイム	水曜Ⅲ限（12:50～14:20）；同曜Ⅳ限（14:30～16:00）。関川研究室（教職課程推進室No2・図書館３階）。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	講義ガイダンス	授業の進め方やワークシートの活用、自作ノートの作成、成績評価の付け方、班別討議の仕方などを説明する。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
2	プラトン	ソクラテスのよき対話者、新しい哲学の誕生、真・善・美などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
3	デカルト	近代哲学の父と言われる理由、心身二元論「我考える、ゆえに我あり」を扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
4	ルソー	人と社会の幸福を問い続けた哲学者、社会契約説、自由の原理などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
5	カント	哲学上の対立を統一した哲学者、純粋理性のアンチノミー、絶望後の希望を扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
6	ヘーゲル	ヨーロッパ近代哲学の完成者、弁証法、「ほんとう」の哲学などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
7	フロイト	「無意識」の発見者、エディプス・コンプレックス、「規定」された「自己ルール」などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
8	ハイデガー	「実存＝人間」から存在を捉えること、私たち自身のあり方としての世界―内―存在、「死」から出た「ほうんとう」などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
9	すべきこと―したいこと―できること	「大学で学ぶ」とはどういうことか、何をすべきか・何をしたいか、「自分に何ができるのか」はわからないこと、自由から生まれる悩み、倫理学は「すべきこと」について考えること、「したいこと」と「すべきこと」の関係、といった事柄を扱う。。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
10	湯加減のよさと良い心	「よさ」は多様な意味をもつこと、人間が備えるべき「よさ」を考えること、「よい生」と尊厳死、道徳判断は主観的か客観的かということ、倫理と道徳を区別して考えること、「よさ」と「理性」の関係、といった事柄を扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
11	尊重の倫理と共感の倫理―カントか、ショーペンハウァー―	複数の道徳が並存する世界、道徳の理由の複数性、カントの「定言命法」、「人を手段として利用しない」、人を軽んじないことの難しさ、ヒューマニズムと「共感の倫理」、人を尊重すると嘘がつけなくなること、といった事柄を扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	「愛」というおまじない言葉の魔法を解く	すべての人がすべての人を愛すべきか、愛の及ぶ範囲、愛はえこひいきだ、性質の異なる愛、愛と道徳性、倫理学はなぜ「愛」を話題にするのかの事柄を扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
13	生命をめぐる新たな倫理的問い	科学技術の発展に対する不安、自然のコントロールと科学技術、科学技術の「進歩」への批判、危険性が予測できないことを根拠とする批判、倫理的な問いとはどんな問いか、倫理学の出る幕、といった事柄を扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
14	「よい社会」について考える	「規範的・批判的」社会論と「実証的」社会論、、社会を変える力は「観念」か「物質」か、人間を「尊重」し、個性を「承認」する社会、平等と差異をめぐる二つの姿勢、「尊重」と「承認」の両立への道筋、という事柄を扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
15	授業のまとめ	講義全体の振返り、自作ノートに対する評価	予習・復習；自作ノートのチェック	40

令和4年度

科目名	文化史	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	仲田　佐和子		
開講期	II		
授業概要	学園創立の経緯を日本の歴史、特に郡山の歴史とともに考察し、建学の精神との関連を理解する。また、身近な文化財と文化施設を学び、生涯学習への活用を理解する。課題に対しては、レポートを添削・返却し、コメント等によるフィードバックを行います。 位置づけ・水準 GC1103		
達成目標	①絵本の表現を理解し、多様性を受け入れられるようになる（人間形成）。☒ ②学園の歴史を理解し、建学の精神について自分なりの解釈を自分の言葉で語れるようになる（個の確立、人間形成）。☒ ③文化施設に関心を持ち、自身の生涯学習へ活かす意欲を持つ（個の確立、人間形成）。 単位認定の基準は、内容の8割を理解してほしい。		
受講資格	短期大学部1年生(健康栄養学科、幼児教育学科)	**成績評価 方法**	レポート2本（60点)☒ 発表（20点）☒ 確認テスト（20点） 60点以上で合格だが、80点以上を目指してほしい。
教科書	使用しない。適宜、資料として『学園史』『折々に』のコピーを配布します。		
参考書	『羽仁もと子選集　生活即教育』（婦人之友社）、『ライフシフト』（東洋経済新報社）ほか、適宜紹介します。		
学生への要望	博物館の特別展や近隣の文化施設を紹介するので、活用して積極的に学ぶこと。		
オフィスタイム	火曜日・Ⅴ時限、水曜日・Ⅴ時限。　創学館４階№4.研究室。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション、絵本の「表現」　☒	教師の自己紹介、文化史の定義、授業の進め方等を説明する。対象者を限定しない「絵本」の魅力について考える。☒ ☒	レポート作成の準備をする。	90
2	学園の歴史①	創立者・関口富左先生の生い立ちから学園創立の経緯を学ぶ。☒	「学園史」を読み理解する。	90
3	学園の歴史②	学園創立時を郡山の歴史と関連づけて学ぶ。	「学園史」を読み理解する。	90
4	学園の歴史③	学園の歴史と建学の精神の関係性を学ぶ。☒	「学園史」を読み理解する。	90
5	レポートの発表	「私のお気に入りの絵本」を発表する。	パワーポイントなど発表の準備をする。	180
6	文化財の保護と活用①	「世界遺産」について理解する。2019年の首里城焼失について解説する。	「世界遺産」の定義を理解する。	90
7	文化財の保護と活用②	文化財保護の体系を学ぶ。身近な文化財を探してみる。	身近な文化財をみつける。	90
8	文化財の保護と活用③	「登録有形文化財」について学ぶ。登録制度が始まった経緯と緩やかな保護措置と活用の関係を理解する。	身近な「登録有形文化財」を調べる。	90
9	文化財の保護と活用④	「日本遺産」について学ぶ。「日本遺産」の方向性と認定による効果を考える。	様々な「日本遺産」について調べる。	90
10	文化財の保護と活用⑤	「日本遺産」に認定された「未来を拓いた一本の水路」について、具体的に学ぶ。	身近なところに「未来を拓いた一本の水路」のストーリーがないか調べる。	90
11	文化施設について学ぶ①	「正倉院」について学び、1000年以上にわたって宝物が収蔵されてきた経緯を理解する。	正倉院宝物について調べる。	90
12	文化施設について学ぶ②	2019年に郡山市立美術館で開催された「クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物」を紹介し、正倉院宝物が彼のデザインに影響を与えたことを理解する。	クリストファー・ドレッサーのデザインに影響を与えた正倉院宝物を調べる。	90
13	文化施設について学ぶ③	クリストファー・ドレッサーのデザインにも見られる「江戸文様」について学び、身近なところにある「江戸文様」について理解する。身近に見つけた江戸模様を発表する。	身近な「江戸文様」を調べる。	90
14	100年時代の生涯学習①	長寿社会となり100年人生を生きていることを考え、生涯学び続ける意義を理解する。	配布した資料を読み、理解を深める。	90
15	100年時代の生涯学習②	様々な学び方と働き方について理解を深め、自分自身の将来を展望する。	自分自身の100年人生を考える。	180

令和4年度

科目名	日本国憲法	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	鈴木　康元		
開講期	Ⅰ		
授業概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 ☒ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☒ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。☒		
達成目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 ☒ ☒		
受講資格	幼児教育学科１年生	**成績評価 方法**	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)
教科書	憲法【第二版】☒ 弘文堂		
参考書	特に指定しない		
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。		
オフィスタイム	授業開始前：創学館２階教務部非常勤講師室 ☒		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特色、日本国憲法の歴史☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下の平等の意義☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

令和4年度

科目名	社会科学（政治）	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	長谷川　貴弘		
開講期	Ⅰ		
授業概要	政治とは、決して私達の生活からかけ離れた存在ではなく、私達の社会、生活と密接に関わっている。また、私達の生活上の意識が今日の政治に反映されているともいえる。本講義では、様々なテーマを通して、生活と政治との密接な関わりについて理解し考察できる能力を養うことを目標とする。☒ 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点後、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。 【位置づけ・水準】　GC1105		
達成目標	【単位認定の最低基準】 教養として政治学を学修することを通じて、私達の生活と政治が如何に密接につながっているか、理解し考察できる能力を養うことを目標とする。この目標の７割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】　他との協調、人間形成		
受講資格	健康栄養学科 1年生 幼児教育学科 1年生	成績評価 方法	定期試験80点、小テスト20点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	成蹊大学法学部編『教養としての政治学入門』ちくま新書他		
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる政治及び社会の問題について関心を持つようにすること。		
オフィスタイム	火曜日　2コマ目　木曜日5コマ目　各日昼休み等 食品経営学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	政治とは。政治思想の歴史について①	政治とは何かについて、また古代ギリシアの政治思想、近代黎明期の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	政治思想の歴史について②	社会契約論と市民革命期以降の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	政治思想の歴史について③	保守主義、ユートピア思想と社会主義、日本の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	政治と政治制度①	権力分立制（三権分立論等）及び大統領制と議院内閣制について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	政治と政治制度②～各国の政治制度	各国（アメリカ、イギリス、ドイツ他）の政治制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	政治と議会制度	議会主義の起源と発達、現代社会と議会主義の危機、議会制度（一院制と二院制）について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	政治と選挙制度①	選挙の原則、選挙の機能、選挙制度の種類、ドント式による議席配分について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	政治と選挙制度②	小選挙区制と比例代表制との比較、各国の大統領選挙制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	政治と選挙制度③	各国の上院議員選挙について学修する。 小テスト実施予定。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	政治と政党①	政党の起源、大衆政党について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	政治と政党②	政党の類型・分類、各国の政党の特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	政治と圧力団体	圧力団体とは何か、その分類、機能、活動について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60
13	政治的無関心とその理論	政治的無関心の歴史とその理論について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60
14	政治理論①	政治的多元論とその批判、政策決定論について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	政治理論②及びこれまでのまとめ	デモクラシーの理論について学修し、これまでの学修内容について復習する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60

令和4年度

科目名	社会科学（経済）	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	安田　純子		
開講期	II		
授業概要	本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。☒ ☒ 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☒ 小テスト採点後、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☒ 【位置づけ・水準】　GC1106		
達成目標	【単位認定の最低基準】　☒ 経済的事象を経済的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の７割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☒ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】　他との協調、人間形成		
受講資格	短期大学部　健康栄養学科、幼児教育学科☒ 1年生	**成績評価 方法**	①小テスト30点（15点×２回）☒ ②課題（レポート）70点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。		
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。		
オフィスタイム	水曜日4コマ　金曜日３コマ☒ 創学館No.1研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。☒ 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。☒	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐって行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習しておくこと。	30
10	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査③	近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
13	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
14	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
15	まとめ	これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

令和4年度

科目名	自然科学（物理）	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	石原　正道		
開講期	II		
授業概要	本講義では物理学における基本的な概念を把握し説明できるようになることを目指す。そのために物理学において最も基本的な分野である力学を学ぶ。学んだ力学をもとに生物の物理学および音の物理学を学び、他分野における物理学の役割を理解する。☒ フィードバックとして理解度確認ペーパーの返却・課題内容の説明等を行う。☒ ☒ 位置づけ・水準 GC1107		
達成目標	本講義では物理学における基礎概念の理解および物理学の役割の理解のために、(1)物理学の考え方を理解し基本的な物理法則を説明できること、(2)エネルギーなどの諸概念を理解し現象と結び付けられること、を目標とする。☒ ☒ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
受講資格	とくに定めない。	**成績評価 方法**	課題(理解度の確認) 2 回・理解度確認ペーパーの提出による。配点割合は課題が各 40% 、理解度確認ペーパーの提出を 20% とする。なお課題は得点分布などを加味し、平均点などの調整を行うことがある。課題実施時の持ち込みは、自筆記入による A4 用紙 1 枚 (表裏記入可) のみに限る。
教科書	適宜プリントを配布する。		
参考書	とくに定めない。		
学生への要望	日常の現象に対して、なぜその現象が起こったのか自ら考えてみること。		
オフィスタイム	水曜日 14:30-16:00, 家政学館4階 情報処理教育研究室☒ 金曜日 14:30-16:00, 家政学館4階 情報処理教育研究室☒ 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。☒ アポイントメント用連絡先 m_isihar@koriyama-kgc.ac.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	本授業の目標を示し、内容を概説する。また評価方法や教科書等などについても述べる。また本授業で要求する基礎能力について説明する。本時では、本講義で必要となる基礎定数・文字式の扱いについて学習する。	本時の復習として、文字式の基本的な扱いを確認すること。	20
2	指数・単位・次元	指数を用いた表現方法について学習する。一般に物理量は単位を有することを知り、具体的な単位に m, cm, kg, g, sec などがあること、また速さなどの単位は、これらの単位の組み合わせとなっていることを理解する。この一般化として、日常の単位は長さ・質量・時間の三つの量の組み合わせで作られることを理解し、次元の概念を学ぶ。	本時の復習として、指数法則・負の整数乗・分数乗について確認をすること。また次元解析とはどのような解析方法であるか具体例で確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
3	力と運動：ニュートンの 3 法則	運動の法則について学ぶ。速度と運動状態の関係に着目し、速度の変化には力が関わっていること、質量とは速度変化のしにくさであることを学ぶ。また物体間に働く力の関係として作用と反作用の関係を学び、日常現象から天体現象まで、同一の法則に支配されていることを認識する。	本時の復習として、ニュートンの三法則の内容を確認し、整理すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	90
4	保存則	保存則に着目すると現象の理解が容易となる。保存則と関係するエネルギー・運動量・角運動量を導入し、相互作用の前後でこれらの物理量が保存されることを学ぶ。さらにエネルギー問題・交通事故と速度の関係・自転車の運転などを保存則の観点から理解する。	本時の復習として、エネルギー等の物理量の定義とその意味、保存則の種類を確認すること。また日常の現象と保存則の関係を整理すること。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	保存則とエネルギー伝達	空間の次元とエネルギーの伝わり方について実験を通して学習する。音は波であって、音の大きさは波の振幅と関係することを学ぶ。音の広がり方に着目し、エネルギー保存の観点から音の弱くなり方について理解する。また音との類推から放射線の強度についても放射線源からの距離により放射線強度が弱まることを理解する。（平面に分布している場合はどこでも同じになることについても触れる）	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、エネルギー保存則と空間の関係を整理すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
6	圧力	圧力の意味を理解し、日常での扱われ方について学ぶ。力は運動を定める基本的な要素であるが、日常では多数の粒子が関与するため力で扱うと不便なことがある。実際の現象では平均化された力である圧力を用いる方が適切な場合がある。ここでは圧力の計算方法を理解し、大気圧の大きさ、大気圧の生み出す現象(風)、圧力差の利用 (サイフォン)などにより圧力と現象との関係を説明できるように学ぶ。より理解を深めるために、授業では体重による圧力に関する簡易実験を行い、圧力と力の違いの理解をはかる。	本時の復習として、圧力の定義を確認すること。また圧力の単位の関係を整理すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
7	生物の物理学：生物の大きさ	あらゆる現象は物理法則に支配されており生物も例外ではない。これまでに学習した空間の次元やエネルギーの観点から、暑さの感じ方の違いや巨大な生物の存在の有無を理解できることを学ぶ。具体的に人間などの大きさや体重度などを参考にし、空想上の生物が存在しうかについて次元解析を用いて考察する。	本時の予習として、次元解析の内容を確認しておくこと。本時の復習として、自分自身の身体において高さ（身長）・横幅・前後の厚みを2倍にした場合の体重を計算してみること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
8	生物の物理学：ダイエットの物理学	ダイエットをエネルギーの視点から考えなおすことで、ダイエットにどのような物理的制約があるのか理解する。ダイエットで用いられるエネルギーの単位であるカロリーと物理的に定義されたジュールの関係を理解し、エネルギー保存則を加味した場合にダイエットすることの物理的な意味を考える。また運動している物体の有するエネルギーなどと食品などのエネルギーを比較することで、運動によるエネルギー消費の程度を検討する。	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、再度、運動や食品のエネルギーの値を比較してみること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
9	課題１	学習してきた内容の理解度をチェックする。力や圧力といった概念やエネルギー保存則などを理解できているか確認する。また次元解析などを用いた質量や密度などの簡単な評価をすることができるか確認をする。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120
10	地球の諸性質	地球に関する大きさ・質量と構造を学ぶ。また地球の大きさを二地点間の距離から推定する方法を理解し、実際の数値データから算出してみることとする。	本時の予習として、地球の半径・周の長さを調べてみること。本時の復習として、円周の計算方法を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
11	音の物理学：波の性質１	音とは空気の疎密波であることから、波の物理的性質について学ぶ。波の有するは振幅(波高)・波速・波長およびこれらと関係付けられる周波数(振動数)を理解する。また波の特徴的な性質である、縦波と横波・回折・干渉(重ね合わせの原理を含む)・反射・屈折について理解し、なぜ直接見えない音源の音が聞き取ることができるのか説明できるよう学ぶこととする。	本時の復習として、波の物理的特徴を全て整理すること。また波の性質も列挙すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	音の物理学 : 波の性質 2	波の性質である「重ね合わせの原理」とは何か復習し、数学上はあらゆる波が正弦波の重ね合わせとして表現できる(フーリエ展開)ことを学ぶ。また固定端と自由端での波の挙動について理解する。波の重ね合わせの結果として定在波と呼ばれる波が生じることを学び、定在波の映像や音による定在波の実験を通じ、定在波について理解を深める。	本時の復習として、日常現象における定在波（定常波）の例を調べてみること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
13	音の物理学 : 声と音	人間の音に対する認識である、音量(音の大きさ)・音程(音の高低)・音色と物理的な性質との対応を学ぶ。音の大きさは波のエネルギーと関係していること、音の高低は周波数と関係していることを理解する。また音色は音の物理的な特性とは関係がなく、波の形状によって定まることを学ぶ。具体的に理解するため、受講生の声を録音し、受講生の声の波形やスペクトルを観察する。	本時の復習として、音量・音程・音色と波の諸量との対応をまとめること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
14	共振・共鳴(力学)	共振・共鳴は、効率的にエネルギー伝達が起こる現象である。このため振動現象の中でも大きな事故を引き起こしうる。共振・共鳴とはどのような現象かを理解し、破壊的な現象が起きうることを理解する（タコマ橋の崩壊・地震と長周期振動）。	本時の復習として、講義内で示した以外の共振現象を調べてみること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
15	課題2	音に関する諸事項や共振・共鳴について理解できているか確認する。波の物理的性質・音色と音の性質と関係などを理解できているか確認する。また共振・共鳴とは何かといったことや、共振・共鳴に関係する現象を把握しているか確認する。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120

令和4年度

科目名	自然科学（化学）	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 必修
担当教員	源川　博久		
開講期	II		
授業概要	[授業の目的・ねらい]　栄養士とフードスペシャリストに必要な化学の知識を習得する。☒ [授業全体の内容の概要]　この授業は短期大学部健康栄養学科の学生を対象に卒業必修科目として開講する。栄養士とフードスペシャリストを目指す学生にとっての重要な基礎となる化学について講義する。高校で化学を履修していない学生のため、元素の種類・周期表・元素記号、化学結合、分子と化学式など化学の基礎的な内容(高校の基礎化学)を含めて講義する。さらに有機化学について専門科目の食品学や生化学を理解するために必要な内容を扱う。☒ [課題に対するフィードバック]　授業中に解説して、フィードバックする。☒ [位置づけ・水準] GC1108		
達成目標	[授業終了時の達成課題]　生体や食品に含まれる化学物質について、化学構造に基いて物質量、性質、特徴や役割を理解する。☒ [単位認定の最低基準] 授業内容の概ね8割以上を理解するよう求める。 ☒ [ディプロマ・ポリシーとの関係]「他との協調」、「人間形成」		
受講資格	特になし。	**成績評価方法**	課題(45%)と定期試験(55%)で評価する。60点以上で単位を認定するが、80点以上を目標とする。
教科書	生理学・生化学につながる　ていねいな化学、羊土社、ISBN: 978-4-7881-2100-2、2200円＋消費税		
参考書	高校の化学基礎、化学の教科書や参考書。☒ 生理学・生化学につながる　ていねいな生物、羊土社☒ 栄養科学イラストレイテッド生化学、羊土社☒ 栄養科学イラストレイテッド基礎栄養学、羊土社		
学生への要望	授業をよく聞き、説明やポイントをノートに取ること。授業では例題や練習問題をおこなうため、予習でこれらを自ら解いてみること。特に、高校で化学を学んでいない学生や苦手とする学生は、予習復習をして理解を深めてほしい。		
オフィスタイム	火曜日、水曜日 12時10分～12時40分　栄養化学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	物質と原子	原子の構造、質量数と同位体、電子殻について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
2	元素の周期律と周期表	最外殻電子の配置によって生じる原子の周期律と周期表について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
3	イオン	原子の最外殻電子の配置とイオンの形成について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
4	化学結合	イオン結合、共有結合、分子間力について、説明する。また、共有結合による分子の形成と極性分子・無極性分子について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
5	原子量と物質量	原子量、分子量、式量について説明する。さらに、アボガドロ数と物質量について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
6	化学反応式	化学反応式の書き方と化学反応式が表す意味を説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
7	酸と塩基	酸・塩基の定義(アレニウスの酸・塩基、ブレンンステッド・ローリーの酸・塩基)、酸・塩基の強弱について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
8	水素イオン濃度と水素イオン指数(pH)	水素イオン濃度と水素イオン指数(pH)、中和反応について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
9	有機化合物と官能基	有機化合物の官能基と代表的化合物の構造、分類、性質について説明する。また、炭化水素の種類と構造について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
10	炭水化物	炭水化物として、単糖類、二糖類、多糖類の構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
11	脂質	脂質として、中性脂肪、リン脂質、コレステロールの構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
12	アミノ酸	アミノ酸の構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
13	たんぱく質	タンパク質の構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
14	核酸	ヌクレオシドとヌクレオチドならびに核酸の構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
15	まとめ	これまでの授業内容をまとめ、問題演習を行う。	資料、教科書、ノートで復習する。	60

令和4年度

科目名	数理・データサイエンス基礎	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	石原　正道		
開講期	II		
授業概要	この講義では、数理・データサイエンス・Artificial Intelligence (AI) の社会に与える影響・データを扱う上での注意事項・データを扱うための表現・データから情報を抽出する方法を学ぶことを目的とする。従来より様々なデータを処理し、情報を抽出することは重要な作業とされていた。今日では、コンピュータの発達やインターネット等の情報網の発達により大量のデータが得られるようになったことやAIに代表される情報処理技術の進展により、いかにデータから情報を抽出するかということがこれまで以上に重要となった。これらの情報抽出は統計学を含む数的な扱いに基礎をおいており、昨今の数理データサイエンスを学ぶうえで数理的な扱いを含むデータ処理を理解しておくことが必須である。以上を踏まえ、本講義では、数理・データサイエンス・AIに基づく社会の変化、大量のデータを扱う場合の留意点、データを扱うための基礎的な数理表現、データから情報を抽出する基本的な方法を学ぶ。 フィードバックとして、確認ペーパーの返却や中間課題の説明等を行う。 実務経験（佐々木）：岡崎信用金庫、そして株式会社F-Powerに勤務し、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が、共同で授業を担当します。		
達成目標	社会におけるデータ活用の基本的な知識を習得し、データを扱い情報を抽出する基本的な方法を理解する。具体的な目標は、⊠ 1. 社会におけるデータやAI利活用およびその留意事項等について説明できること⊠ 2. データを扱うために必要な数な扱い（冪・関数・行列・集合）ができるようになること⊠ 3. データの記述とデータからの情報抽出（検定・回帰）ができるようになること⊠ である。⊠ ⊠ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること⊠ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
受講資格	なし。	**成績評価 方法**	確認ペーパー・中間演習の結果・レポート課題による。成績評価への割合は、確認ペーパーの提出を20%、中間演習とレポート課題の割合をそれぞれ40%とする。
教科書	テキストを PDF として Web 上で配信する。		
参考書	前野 昌弘, 三國 彰, "統計解析", 日本実業出版社 (2000); 涌井 良幸, 涌井 貞美, "多変量解析", 日本実業出版社 (2001)		
学生への要望	事前に資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。		
オフィスタイム	石原：水曜日 IV, 家政学館4階 情報処理教育研究室 　　金曜日 IV, 家政学館4階 情報処理教育研究室 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。 アポイントメント用連絡先 m_isihar@koriyama-kgc.ac.jp 佐々木：水曜日以外、芸術館2階　No.2地域創成学科研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の構成と数理・データサイエンス・AIによる社会の変化と動向　石原・佐々木	本講義で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。近年は大量のデータを取得し取り扱えるようになったことにより、データサイエンス・AIと呼ばれる分野が盛んになった。本時では、数理・データサイエンス・AIによって社会にどの様な変化が生じているか、また今後はどのような方向に向かうと考えられるか概説する。	復習として、これまでの社会変化がどのようなものであったか整理してみること。	30
2	利活用されているデータ・利用領域・利用技術・利活用の現場　石原・佐々木	社会では様々な種類のデータが活用されている。本時ではデータやAIの活用領域、利用するための技術、利活用例などについて学ぶことにする。	政府統計ポータルにアクセスし、少なくとも三つのデータもしくはグラフを確認すること。	30
3	データサイエンスと情報の保護　石原・佐々木	データサイエンスやAIの知識や技術を利用すると、様々な大量のデータを結合し、特徴を抽出することが可能となる。このことは利便性を生む反面、個人の行動・趣味などの秘匿すべき情報も分析できることを意味する。本時では、データを扱う上での留意事項を学ぶこととする。	Ethical, Legal and Social Implications (ELSI) について調べてみること。Society4.0とSociety5.0の違いを比較し整理してみること。	60
4	巾の演算　石原・佐々木	積の概念を発展させたものに冪がある。概念的には積と商で理解できるが、冪の演算に習熟すると様々な場面で計算が簡略化される。本時では冪とその演算規則について学ぶ。	復習として冪に関する演算規則を確認すること。また冪を用いた数値の表現について確認すること。	30
5	一次関数　石原・佐々木	一次関数は連続量を扱う数学では基本的な関数である。微分とも関連し応用範囲は広い。本時では一次関数とグラフの関係や回帰式などについて触れる。	復習として、一次関数の各係数の意味、グラフとの関係を再確認しておくこと。	45

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	ベクトルと行列　石原・佐々木	複数の数値はひとまとめにしてベクトルとすると扱いやすくなる。本時では、データを扱う際に必要となるベクトルとベクトルに作用する行列について学ぶ。	2行2列の行列を作成し、行列の積が非可換であることを確認すること。また逆行列が存在しない行列を具体的に構成してみること。	45
7	集合　石原・佐々木	数学の基礎の一つに集合がある。本時では部分集合や集合の積・和・差などの概念を導入する。また集合演算の基礎であるド・モルガンの法則やその応用方法を学ぶ。	復習として、集合の基本概念（空集合など）および集合間の演算について確認すること。	60
8	課題　石原・佐々木	これまで学修した内容に対する課題を提示する。本課題を通じ、これまでの学修内容を確実なものにする。また本時では本課題の説明も行う。	復習として、提示した課題を再度行ってみること。このことにより、理解が不足している部分を確認すること。	120
9	データとその記述　石原・佐々木	データには様々な種類がある。ここでは統計を適用する上で認識しておくべきデータの種類、基本的な統計量を学ぶ。実際に受講生自身で基本統計量を算出することとする。	復習として、データの種類毎に実例を探してみること。また平均や分散などの特徴を再確認すること。	90
10	相関　石原・佐々木	二つの事柄に関係があるとき相関があるという。この相関を統計学的に見出す手法について学ぶ。また実際に受講生がデータから相関を算出することとする。	復習として、相関係数の定義を確認すること。また相関関数の値をみることで、あらゆる相関が判断できるわけではないことを確認すること。	45
11	検定の基礎　　石原・佐々木	ある仮説が正しいか否かを統計的に調べる方法を検定という。本時では検定の基本的な考え方を学ぶ。検定を行うための前提条件である正規性や検定を行う過程で用いられる帰無仮説・優位水準・p値などの概念を学ぶ。また検定における過誤についても学ぶ。	検定で用いられる、正規性・帰無仮説・優位水準・p値などの用語を整理すること。	60
12	パラメトリック検定　石原・佐々木	検定する対象により様々な検定方法があるが、本時ではパラメトリックな平均値の検定を学び、受講生自身により平均値の検定を試みることとする。またパラメトリックな検定が利用できない場合に用いるノンパラメトリック検定について、その概略を学ぶ。	復習として、複数のデータで平均値の検定を行ってみること。	90
13	適合度の検定と独立性の検定　石原・佐々木	検定には、測定値が理論値と合致するか否かを判断するための適合度の検定や、二つの要素に関連性があるか否かを判断するための独立性の検定がある。本時ではこれらの検定の考え方を学ぶ。また簡単な例を通して、これらの検定を受講生自ら行い検定結果を確認することとする。	復習として、講義内で示した例において、数値を変えて適合度の検定や独立性の検定を行ってみること。	60
14	回帰分析による実データの分析　石原・佐々木	ある変数(目的変数) と他の変数(説明変数)からなる回帰式と呼ばれる式により分析することを回帰分析という。本時では回帰の基本的な考え方および線形回帰と非線形回帰の違いを学ぶ。その後に国・地方公共団体・産業界等によって収集された実データを分析する。分析するための処理を行い、その後、線形回帰によりデータを分析をする。一連の過程を受講生自身が行うことにより、回帰分析および実際の分析過程を学ぶことにする。	復習として、回帰の基本的な考え方を確認すること。また実際に回帰直線を求め、回帰直線の決定の仕方により、目的変数と説明変数の間に非対称が生じうることを確認すること。	90
15	まとめ　石原・佐々木	本科目の総まとめをする。どのような統計手法がどのような目的で使われたのか整理する。また総まとめとなるレポート課題を提示する。	授業内容に則し、課題を実施しレポートとしてまとめること。	300

令和4年度

科目名	言葉と表現	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	渡部　東一郎		
開講期	Ⅰ		
授業概要	教科書に沿いながら、日本語表現力の基礎となる知識や日本語を「読み」「書き」「話す」上でのポイントを学び、幾つかの文書・文章については実際に作成の上、課題として提出してもらう。☒ なお、提出してもらった課題は、添削した上で次回授業時に返却する。ただし場合によっては再提出を求めることもある。☒ 位置づけ・水準 GC1111		
達成目標	①短大生として相応しい日本語表現力・語彙力を身に付ける。☒ ②スピーチや各種の文書作成時に不可欠なポイントを踏まえ、場面や場合に適った表現ができる。☒ 単位認定の最低基準は、内容の８割を理解していること。☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：4)		
受講資格	特になし	**成績評価 方法**	提出課題３回の成績（６０％）、授業時の取り組む姿勢（４０％）
教科書	米田明美・蔵中さやか・山上登志美［著］☒ 『大学生のための日本語表現実践ノート改訂版』（風間書房　1,100円）		
参考書	授業内で必要に応じて紹介する。		
学生への要望	提出課題を書く際に用いる400字詰め原稿用紙（横書き・A４版が望ましい）を事前に準備しておくこと。		
オフィスタイム	火曜日４限の教務部非常勤控室、及び授業終了後。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の目標と流れについて説明する。	授業の目標と流れについて確認する。	30
2	日本語表現の基礎（１）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅰ　同音異義語・同訓異義語☒ ○日本語の文の構造について学習した上で問題演習を行う。☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅳ　文の構造	学習した内容を復習する。	60
3	日本語表現の基礎（２）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅰ　同音異義語・同訓異義語☒ ○文の構造に関する演習問題、及び助詞の重要性を学習した上で問題演習を行う。☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅳ　文の構造　Ⅴ　助詞	学習した内容を復習する。	60
4	日本語表現の表現（３）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅰ　同音異義語・同訓異義語☒ ○助詞に関する問題演習を行う。☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅴ　助詞	学習した内容を復習する。	60
5	敬語表現（１）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅰ　同音異義語・同訓異義語☒ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。☒ <教科書>第３課　敬語・敬語表現を使おう　Ⅰ　敬語の種類	学習した内容を復習する。	60
6	敬語表現（２）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅰ　同音異義語・同訓異義語☒ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。☒ <教科書>第３課　敬語・敬語表現を使おう　Ⅱ　敬語の用法、その１	学習した内容を復習する。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	敬語表現（３）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅱ　四字熟語☒ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。☒ <教科書>第３課　敬語・敬語表現を使おう　Ⅲ　敬語の用法、その２	学習した内容を復習する。	60
8	敬語表現（４）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅱ　四字熟語☒ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。☒ <教科書>第３課　敬語・敬語表現を使おう　Ⅳ　敬意表現	学習した内容を復習する。	60
9	会話表現	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅱ　四字熟語☒ ○スピーチ・説明をする際のポイントを学習した上で、問題演習を行う。☒ <教科書>第２課　話してみよう　Ⅰ　スピーチ　Ⅱ　説明をする	学習した内容を復習する。	60
10	文章の要約	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅱ　四字熟語☒ ○文章を要約するポイントを学んだ上で、要約文を作成する（提出課題①）☒ <教科書>第４課　書いてみよう　Ⅰ　文章の要約	学習した内容を復習する。	60
11	論作文（１）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅲ　慣用表現・ことわざ・故事成語☒ ○論作文の書き方を学習する。☒ <教科書>第４課　書いてみよう　Ⅱ　論作文	学習した内容を復習する。	60
12	論作文（２）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅲ　慣用表現・ことわざ・故事成語☒ ○論作文を作成する（提出課題②）。☒ <教科書>第４課　書いてみよう　Ⅱ　論作文	学習した内容を復習する。	60
13	実用的な文章（１）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅲ　慣用表現・ことわざ・故事成語☒ ○手紙文の形式と書き方を学習する。☒ <教科書>第４課　書いてみよう　Ⅲ　手紙文	学習した内容を復習する。	60
14	実用的な文章（２）	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅲ　慣用表現・ことわざ・故事成語☒ ○ビジネス文書の形式と書き方を学習した上で、問題演習を行う。☒ <教科書>第４課　書いてみよう　Ⅴ　ビジネス文書	学習した内容を復習する。	60
15	文書作成	○語彙のトレーニング☒ <教科書>第１課　ことばと表現を知ろう　Ⅲ　慣用表現・ことわざ・故事成語☒ ○履歴書や履歴書に添付する文書の書き方、また、エントリーシートを作成する際のポイントを学習した上で、自分をアピールする文章を作成する（提出課題③）。☒ <教科書>第６課　就職活動の準備をしよう　Ⅰ　履歴書　Ⅱ　エントリーシート	学習した内容を復習する。	60

令和4年度

科目名	総合英語コミュニケーション	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	ポール　バーナミィ		
開講期	II		

授業概要	PREREQUISITES FOR THIS CLASS: ☒ Students will have completed high school English. Students should be able to understand and use language concerning familiar, everyday topics, such as likes and dislikes. They also should be able to give basic personal and family information. ☒ A. The number of this subject is GC1112.☒ B. The instructor has taught English for more than 20 years.☒ ☒ EVALUATIONS FOR THIS CLASS: ☒ ① You should be able to give a short clear self-introduction. ☒ ② You should be able to read smoothly and understand a short passage. ☒ ③ You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.☒ FEEDBACK: I will frequently give constructive feedback to students on their participation, articulation, homework, quizzes and development.☒ ☒ ☒ ☒ ☒ EVALUATIONS FOR THIS CLASS:☒ ① You should be able to give a short clear self-introduction.☒ ② You should be able to read smoothly and understand a short passage.☒ ③ You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.
達成目標	GOALS OF THIS CLASS: ☒ A. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. ☒ B. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks ☒ to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.☒ C. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 60% or higher on ☒ the overall average of these main criteria, attitude, quizzes and the final test.☒ D. The “Diploma Policy” (DP) for this subject stipulates “Cooperation and Other” ☒ and “Human Development.”

受講資格	短大1年	**成績評価 方法**	1. Active, Enthusiasm (20%)☒ 2. Quizzes, Homework (30%)☒ 3. Final Cumulative Test (50%)
教科書	Speak NOW 2 by Jack C. Richards & David Bohlke		
参考書	Oxford University Press 2012		
学生への要望	Don’t miss class. Be attentive. ☒ Do regular listening of your audio files.☒ Study 120 minutes of homework each class.☒ Review all material including textbook, online self-study and supplemental material.		
オフィスタイム	Room 837: Monday, 13:00～16:30☒ 時間：月曜日, 13:00～16:30 時限 ☒ 場所：83年館３F　837研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to Class	Welcome To Class Lesson 8---Are you ready to order?---Review Lesson 7---The service is great.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 19-21. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 20-21. Confidence booster. Active Learning Explained. External Supplements Explained. Homework, Attendance, etc. I will explain in detail how the online portion of the class will be used. Encourage students to ask questions and to give feedback on office hours, assignments, quizzes, test information, and any question they would like to ask.	Review the textbook. Read through pages 16-19. Listen to tracks 19-21. Do vocabulary worksheet 8. Do online assignment. Review pages 20-21 English in Action online video supplement.	120
2	Lesson 9	Lessons 9-12---HEALTH---Lesson 9---I have a sore throat.---Review Lesson 8---Are you ready to order?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 22-23. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 22-23. Listen to audio tracks 22-23. Do vocabulary worksheet 9. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
3	Lesson 10	Lesson 10---What should I do?---Review Lesson 9---I have a sore throat.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 24-27. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 24-25. Listen to audio tracks 24-27. Do vocabulary worksheet 10. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
4	Lesson 11	Lesson 11---I'd love to try that!---Review Lesson 10---What should I do?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 28-29. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 26-27. Listen to audio tracks 28-29. Do vocabulary worksheet 11. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
5	Lesson 12	Lesson 12---Soccer is more exciting!---Review Lesson 11---I'd love to try that!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 30-32. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 30-31. Confidence booster. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 28-29. Listen to tracks 30-32. Do vocabulary worksheet 12. Do online assignment. Review pages 30-31 English in Action online video supplement.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	Lesson 13	Lessons 13-16---JOBS---Lesson 13---I can write pretty well.---Review Lesson 12---Soccer is more exciting!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 33-36. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 32-33. Listen to tracks 33-36. Do vocabulary worksheet 13. Review English in Action online video supplement.	120
7	Lesson 14	Lesson 14---I'd have to have.---Review Lesson 13---I can write pretty well.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 37-38. Conversation. Active learning pair work activity. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 34-35. Listen to tracks 37-38. Do vocabulary worksheet 14. Review English in Action online video supplement.	120
8	Lesson 15	Lesson 15---I travel for free.---Review Lesson 14---I'd have to have.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 39-40. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 36-37. Listen to tracks 39-40. Do vocabulary worksheet 15. Review English in Action online video supplement.	120
9	Lesson 16	Lesson 16---Is the manager there?---Review Lesson 15---I travel for free.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 41-44. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 40-41. Confidence booster. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 38-39. Listen to tracks 41-44. Do vocabulary worksheet 16. Review pages 32-39 English in Action online video supplement. Do online assignment.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	Lesson 17	Lessons 17-20---FREE TIME---Lesson 17---That sounds fun!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks CD2, 2-3. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 42-43. Listen to tracks CD2, 2-3. Do vocabulary worksheet 17. Do online assignment.	120
11	Lesson 18	Lesson 18---I'd love to go.---Review Lesson 17---That sounds fun!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks CD2, 4-6. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 44-45. Listen to tracks CD2, 4-6. Do vocabulary worksheet 18. Review returned quiz. Do online assignment.	120
12	Lesson 19	Lesson 19---I'm sorry, but I can't.---Review Lesson 18---I'd love to go.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks CD2, 7-8. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 46-47. Listen to tracks CD2, 7-8. Do vocabulary worksheet 19. Review returned quiz. Do online assignment.	120
13	Lesson 20	Lesson 20---Sorry I'm late.---Review Lesson 19---I'm sorry, but I can't---Listening and Pronunciation. Listen to tracks CD2, 9-11. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 48-49. Listen to tracks CD2, 9-11. Do vocabulary worksheet 20. Review returned quiz. Review pages 42-49 English in Action online video supplement. Review Supplements. Review returned quiz. Review English in Action online video supplement.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	Lesson 21	Lessons 21-24---TRAVEL---Lesson 21---Did you go alone?---Review Lesson 20---Sorry I'm late---Listening and Pronunciation. Listen to tracks CD2, 12-14. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 52-53. Listen to tracks CD2, 12-14. Do vocabulary worksheet 21. Review Supplements. Review returned quiz. Review English in Action online video supplement.	120
15	Test Review	Textbook Summary, CD Review, Quiz, Conversation. Active learning pair work activity review. Test Preparation & Review.English Picture Book Final Presentation. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages indicated to study for the final test. Listen to all audio tracks indicated during test preparation.	180

令和4年度

科目名	英語表現法	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	ダニエル　ホーナー		
開講期	Ⅰ		

授業概要	OUTLINE OF 英語表現法 (English Expression Methods - EEM): ☒ A. The number (ナンバリング) of this subject is GC1113.☒ B. Instructor taught English at Koriyama Women's University Attached High School☒ (郡山女子大学附属高等学校) for 19 years. 郡山開成学園の教員として高校に勤務していました。☒ C. Students should be able to understand and use language concerning familiar everyday topics, such as starting conversations and describing personalities. They also should be able to give basic personal and family information.☒ D. Active learning is substantially utilized in every lesson!☒ EVALUATIONS FOR THIS CLASS:☒ 1. You should be able to give a short clear self-introduction. ☒ 2. You should be able to read smoothly and understand short passages. ☒ 3. You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.☒ FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.
達成目標	ACHIEVEMENT GOALS OF THIS CLASS:☒ 1. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. ☒ 2. Additionally, required quiz and homework will incorporate listening tasks ☒ to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.☒ 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the quiz, homework and the final test.☒ 4. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."
受講資格	短大１年生
成績評価方法	1. Active, Enthusiasm (10%)☒ 2. Quiz, Homework (40%)☒ 3. Final Cumulative Test (50%)
教科書	Textbook: "Speak NOW 2" ☒ by Jack C. Richards & David Bohlke☒ Publisher: OXFORD☒ ISBN: 978-0-19-403016-8☒ (This same textbook can be used in Mr. Paul Vonnahme's lessons, too.☒ この教科書「Speak NOW 2」は、英語表現法と総合英語コミュニケーションにも使用されています.)
参考書	Prints produced by the instructor.
学生への要望	Don’t miss class. Be attentive. ☒ Do regular listening of your audio files.☒ Prepare and review 120 minutes for each class.☒ Review all material including textbook, online self-study and supplemental material.
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th Period (16:10 ~ 17:40), ☒ and by Appointment, 創学館４Ｆ No.3 研究室. ☒ I'll help you any time you need help!

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to the Class	Lessons 1-4 - FRIENDS & FAMILY. Lesson 1 - Where are you from? Pages 2-8, Explain Textbook, Tests, Quiz, Active Learning, External Supplements, Homework, and Attendance. Active learning through interviewing class members. I will also explain in detail how the online portion of the class will be used.	Review the textbook. Read through Scope and Sequence of the textbook. Review lessons we will do for the class. Review the textbook units and the online activities. Prepare textbook and computer for all classes and bring them to every class.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	Lesson 1	Lesson 1 - Where are you from? Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 2-4. Conversation. Active learning through a pair work activity. English in Action Video, page 10. Watch and explain online video.	Review the textbook. Read through pages 2-3. Listen to CD tracks 2-4. Do vocabulary worksheet 1. Do first online assignment.	120
3	Lesson 2	Lesson 2 - I'm tall and thin. Review Lesson 1. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 5-6. Conversation. Active learning: pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 4-5. Listen to CD tracks 5-6. Do vocabulary worksheet 2. Do online assignment.	120
4	Lesson 3	Lesson 3 - Alice is more serious. Review of Lesson 2. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 7-8. Conversation. Active learning: pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 6-7. Listen to CD tracks 7-8. Do vocabulary worksheet 3. Do online assignment.	120
5	Lesson 4	Lesson 4 - All of my friends text. Review Lesson 3. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 9-11. Conversation. Active learning: pair work activity. Summary review of lessons 1-4, pages 10-11. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 8-9. Listen to CD tracks 9-11. Do vocabulary worksheet 4. Do online assignment. Review pages 12-13. English in Action online video supplement.	120
6	Lesson 5	Lessons 5-8 - RESTAURANTS. Lesson 5 - I've never had Thai food. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 12-13. Conversation. Active learning: pair work activity, and small groupwork describing favorite dishes.	Review the textbook. Read through pages 12-13. Listen to CD tracks 12-13. Do vocabulary worksheet 5. Do online assignment.	120
7	Lesson 6	Lesson 6 - First, grill the bread. Review Lesson 5. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 14-16. Conversation. Active learning: pair work activity, and groupwork giving instructions on how to cook a dish.	Review the textbook. Read through pages 14-15. Listen to CD tracks 14-16. Do vocabulary worksheet 6. Do online assignment.	120
8	Lesson 7	Lesson 7 - The service is great.-Review Lesson 6. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 17-18. Conversation. Active learning: pair work activity, and groupwork describing restaurant merits.	Review the textbook. Read through pages 16-17. Listen to CD tracks 17-18. Do vocabulary worksheet 7. Do online assignment.	120
9	Lesson 8	Lesson 8 - Are you ready to order? Review Lesson 7. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 19-21. Conversation. Active learning: pair work activity. Summary review of lessons 5-8, pages 20-21. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 18-19. Listen to CD tracks 19-21. Do vocabulary worksheet 8. Do online assignment. Review pages 20-21. English in Action online video supplement.	120
10	Lesson 9	Lessons 9-12 - HEALTH. Lesson 9 - I have a sore throat. Review ☒ Lesson 8. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 22-23. Conversation. Active learning: pair work activity, and groupwork describing personal injuries and accidents.	Review the textbook. Read through pages 22-23. Listen to CD tracks 22-23. Do vocabulary worksheet 9. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	Lesson 10	Lesson 10 - What should I do? Review Lesson 9. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 24-27. Conversation. Active learning: pair work activity, and groups discussions on ways to improve diets.	Review the textbook. Read through pages 24-25. Listen to CD tracks 24-27. Do vocabulary worksheet 10. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
12	Lesson 11	Lesson 11 - I'd love to try that! Review Lesson 10. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 28-29. Conversation. Active learning: pair work activity, and discussion about extreme sports.	Review the textbook. Read through pages 26-27. Listen to CD tracks 28-29. Do vocabulary worksheet 11. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
13	Lesson 12	Lesson 12 - Soccer is more exciting! Review Lesson 11. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 30-32. Conversation. Active learning: pair work activity. Summary review of Lessons 9-12, pages 30-31. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 28-29. Listen to CD tracks 30-32. Do vocabulary worksheet 12. Do online assignment. Review pages 30-31. English in Action online video supplement.	120
14	Lesson 13	Lessons 13-16 - JOBS. Lesson 13 - I can write pretty well. Review ☒ Lesson 12. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 33-36. Conversation. Active learning: pair work activity, and discussions in groups of 5 about what students are good at.	Review the textbook. Read through pages 32-33. Listen to CD tracks 33-36. Do vocabulary worksheet 13. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	180
15	Test Review, Final Test	Textbook Summary, CD Review, Conversation. Active learning: pair work activity review. Test Preparation & Review. Prior to today's class, do a complete review for the final test. The final test is taken during the last lesson (today).	Review the textbook. Read through pages indicated to study for the final test. Listen to all audio tracks indicated during test preparation. Take the final test today.	180

令和4年度

科目名	健康スポーツ論	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択
担当教員	佐藤　浩明		
開講期	II		
授業概要	GC1114☒ 健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、スポーツの意義、特性を理解し、生涯にわたって自ら健康について考え行動できる力を習得する。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミニュケーションや協調性を指導します。 ☒ ①運動と健康の関連を理解し、エクササイズの方法や身体についての基礎知識を学びます。☒ ②スポーツの意義を理解し、自分の健康や行動のありかたについて学びます。☒ ③レポート、等は口頭またはコメントで書き返却します。		
達成目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力☒ （人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。☒ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】☒ ・他との協調　・人間形成☒ レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。		
受講資格	幼児教育学科　１年生☒ ☒ ※教職課程履修者は必修	**成績評価 方法**	レポート60点　平常点　40点（取組姿勢・提出物）
教科書	特になし（必要に応じて資料、課題を配布します）		
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」		
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。		
オフィスタイム	火・水・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室☒ （佐藤）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状やオリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツが持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
2	生活と健康について①	《健康とは何か》☒ ☒ 健康について考える導入として「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ様々な角度から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
3	生活と健康について②	《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》☒ ☒ ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し運動との関係について学びます。☒ ②運動・休養と健康の関係について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
4	生活と健康について③	《大学生の健康》☒ ☒ 大学生の生活に潜む健康を害する危険について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
5	生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》☒ ☒ スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
6	生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》☒ ☒ 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにどう影響するのか、①行う　②観る　③支える　④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
7	生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》☒ ☒ 大学生になり、高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康について興味を持ち、運動やスポーツについてどう関わることができるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》⊠ ⊠ スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常の生活や普段の行動にも通じるものがあります。ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

令和4年度

科目名	スポーツ実技	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択
担当教員	佐藤　浩明		
開講期	Ⅰ		
授業概要	GC1115☒ 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性や楽しさを理解し、生涯にわたって自分の健康や体力について配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技を通して学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミニュケーションや協調性を指導します。 ☒ ①運動の重要性を理解し、健康との関連について学びます。☒ ②運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。☒ ③運動を通して基礎体力の維持、向上する方法について学びます。☒ ④レポートは口頭またはコメントを書き返却をます。		
達成目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力（人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。☒ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】☒ 　・他との協調　・人間形成☒ レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。		
受講資格	健康栄養学科　1年生	**成績評価** **方法**	取組姿勢40点　実技試験60点☒ ※本科目は実技科目のため出席、積極的な取組みを重視します）
教科書	特になし（必要に応じて資料等配布します）		
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者養成テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：㈶日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメゾット：高橋書店」		
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。☒ 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
オフィスタイム	火、水、木の9:00～16:00まで　創学館NO4研究室 佐藤		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明　②服装、準備物の確認（注意事項含む）　③グループ分け	運動着、水分を準備してくる事	30
2	縄跳び①／からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】☒ ☒ 【到達目標】☒ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する☒ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動　③レクリエーションゲーム　④からだづくりの運動　⑤縄跳び（個人およびグループ）　⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☒ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☒ ☒ 【到達目標】☒ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する☒ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②コーディネーショントレーニング　③レクリエーションゲーム　④からだづくりの運動　⑤縄跳び（個人およびグループ）　⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☒ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☒ ☒ 【到達目標】☒ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する☒ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②コーディネーショントレーニング　③レクリエーションゲーム　④からだづくりの運動　⑤縄跳び（個人およびグループ）　⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☒ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
5	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☒ ☒ ☒ 【到達目標】☒ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する☒ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④フライングディスク（グループ対抗戦）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
6	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☒ ☒ ☒ 【到達目標】☒ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する☒ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④フライングディスク（グループ対抗戦）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】⊠ ⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④フライングディスク（グループ対抗戦）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
8	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】⊠ ⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④フライングディスク（グループ対抗戦）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
9	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】⊠ ⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④フライングディスク（グループ対抗戦）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
10	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
12	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
13	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
14	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】⊠ ⊠ 【到達目標】⊠ ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する⊠ ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）　②からだづくりの運動　③レクリエーションゲーム　④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム）　⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	実技のまとめ	≪まとめとして実技試験を行う≫⊠ ⊠ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム　③実技試験　④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）　⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

令和4年度

科目名	スポーツ実技	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 幼児教育学科　2年 1単位 選択
担当教員	柴田　卓		
開講期	Ⅳ		
授業概要	〔授業の目的〕☒ 1．基礎体力と柔軟性☒ 2．自己管理能力☒ 3．スポーツの特性の理解（チームワーク他）☒ 4．身体表現作品鑑賞（バレエ）☒ 〔授業概要〕☒ 様々なスポーツ実技を通して、１．基礎体力と柔軟性、2．自己管理能力、3．スポーツの特性理解（チームワーク他）、4．身体表現力の向上および習得を目指す。2については、毎回「リフレクションシート」への記入を行うことによって、授業内外の自己の体調をフィードバックする。☒ 最終授業で全体評価に対するフィードバックを行う。位置づけ・水準GC1115☒ ☒ 単位認定の最低基準は、達成目標に対して7割を理解し習得していること。☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
達成目標	①　保育者として必須の基礎体力と柔軟性を養うことができたか。☒ ②　体調管理と健康のために、自己管理能力を養うことができたか。☒ ③　チームプレイの必要なゲームにおいて、集団内で協力し活動することができたか。☒ ④　身体表現の豊かさを知ることができたか。		
受講資格	短大　幼児教育学科2年生	**成績評価** **方法**	平常点30点　☒ リフレクションシート20点☒ 提出物50点
教科書	特になし		
参考書	必要に応じてプリント配布		
学生への要望	積極的に参加しましょう。		
オフィスタイム	木曜日の13時～16時、金曜日の13時～16時　場所：83年館824研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション ストレッチングと運動強度について	・授業の概要および評価方法に関する説明☒ ・ストレッチングの方法と効果、指導する際の留意点 ・運動強度と心拍数について	リフレクションシートの理解と準備 ストレッチングの概要、指導の留意点、運動強度に関して振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
2	ニュースポーツ	・アルティメットの理解と試合	アルティメットの技術・戦術及び運動強度について振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
3	バドミントンと卓球①	・ルールの理解☒ ・サーブとレシーブ☒	バドミントンと卓球のルール及び運動強度に関して振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
4	バドミントンと卓球②	・ゲーム☒ ・ルールの理解☒ ・審判としての役割☒ ・バドミントンの面白さ探求	バドミントンと卓球の技術及び運動強度に関して振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
5	ドッジボール①	・ルールの理解☒ ・作戦会議☒ ・試合	ドッジボールの面白さ及び運動強度について振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
6	ドッジボール②	・王様ドッジボール☒ ・グループワーク（ドッジボールの応用を考える）☒	王様ドッジボール以外の応用について調べ、リフレクションシートへ記入する。	30
7	バレーボール①	・アンダーパスとオーバーパス☒ ・チーム対抗パスゲーム	バレーボールの技術と面白さに関して振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
8	バレーボール②	・サーブとレシーブ☒ ・トスとスパイク☒ ・ゲーム①☒	バレーボールの戦術と運動協に関して振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
9	バレーボール③	・ゲーム②☒ ・戦略☒ ・チームワーク☒ ・バレーボールの面白さ探求	試合の運営方法に関して各自で調べ、リフレクションシートへ記入する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	バレーボール④	・ゲーム③ ・戦略 ・チームワーク ・バレーボールの面白さ探求	試合の運営方法に関して各自で調べ、リフレクションシートへ記入する。	30
11	縄跳び	・大縄跳び	短・大縄跳びの技術及び運動強度について振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
12	身体表現鑑賞①	・クラシックバレエの動作探究	クラシックバレエの身体表現に関して振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
13	身体表現鑑賞②	・クラシックバレエの動作探究②	クラシックバレエの身体表現に関して振り返り、リフレクションシートへ記入する。	30
14	スポーツと発達段階	・スポーツとは何か ・スポーツライフ☒ ・子どもとスポーツ☒	授業で学習したことを各自調べながらリフレクションシートへ記入する。	30
15	スポーツの意義と価値 まとめ	・スポーツの価値とは何か ・これまでの授業概要をまとめたリフレクションシートおよびレポートの提出	授業で学習したことを各自調べながらリフレクションシートへ記入する。	30

令和4年度

科目名	情報処理Ⅰ	**対象 単位数 必選**	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	石原　正道		
開講期	Ⅰ		
授業概要	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成・表計算について学習する。☒ フィードバックとして、未提出物がある場合や自学自習欄の提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。☒ ☒ 位置づけ・水準 GC1116		
達成目標	本演習における達成目標は次の通りとする。☒ 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。☒ 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。☒ 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。☒ ☒ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
受講資格	なし。	**成績評価 方法**	達成目標の到達度合いは提出物・課題により評価する。内容毎に課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は提出物を１５％、課題１を１５％、課題２を３５％、課題３を３５％とする。
教科書	イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル Office 365・Office 2019対応、noa出版 (2019)		
参考書	なし。		
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。		
オフィスタイム	月曜日 16:10-17:05, 家政学館4階 情報処理教育研究室☒ 水曜日 14:30-16:00, 家政学館4階 情報処理教育研究室☒ 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。☒ アポイントメント用連絡先 m_isihar@koriyama-kgc.ac.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえ、インターネットを利用するためのセキュリティーについて触れる。☒	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。☒た Email を利用するためのセキュリティについて学ぶ。ローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。☒	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCC の違いをまとめること。	30
4	課題1	インターネット (ブラウザ・メールなど) の用法について、正しく利用できるか確認をする。☒ また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード http://www.noa-prolab.co.jp/download/	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味の理解とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。☒	復習として、日本語変換の方法を再確認し、教科書の練習6を行ってみること。	20
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いてWord STEP2 確認テスト1・確認テスト2を実施すること。 提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となるExcel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いてWord STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみること。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.141までを読んでおくこと。このほか提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでおくこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いてExcel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。☒	復習として、eLearning Systemを用いてExcel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題 3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでおくこと。	30

令和4年度

科目名	キャリアデザインⅠ	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科　1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	知野　愛,安田　純子,長谷川　貴弘		
開講期	Ⅰ		
授業概要	本学におけるキャリア教育は、「一人一人の社会的自立に向け、生涯を通して自己を磨き続けることができる能力を育成するための教育」と定義されます。本授業では、まず大学生として学ぶ姿勢の基本を身につけることで、「つくる力」(創造力、論理的思考力、表現力)と「かかわる力」(主体的行動力、コミュニケーション能力、倫理･道徳観)という社会で活躍するための基礎力を確認し、主体的に大学生活を送ることで各自のライフキャリアを構築できるようにします。 □最終授業で全体に対するフィードバックを行います。提出物は返却しますので、必ずファイリングして以後の集会や就職活動等に役立ててください。 CD1903		
達成目標	自分の夢を実現するための具体的な目標をキャリアプランニングの意識を持って自主的にレポートにまとめることができる。初回と最終回の自己評価・2回の課題レポートの提出・最終回のテキスト提出を単位認定の最低基準とする。 ディプロマ・ポリシーとの関係：　課題解決力・主体的行動力		
受講資格	特になし	成績評価 方法	授業時のワークへの取り組み状況（使用テキスト提出）と提出物（2回のレポートと最終授業のマンダラチャートは必須）から「認」評価を判定する。
教科書	教材集『キャリアデザイン』配布		
参考書	授業中に適宜提示する。		
学生への要望	・新聞やインターネットなどのメディアには、有益な進路情報がたくさん掲載されています。定期的に目を通すことで、労働環境や職業社会の実態を把握し、自分の意見を整理してみましょう。 ・自分自身の進路について、周囲の友人や家族と日常的に話してみましょう。また、身近にいる社会人から仕事や家庭生活に関する話を聞いてみることも、進路を考える上でヒントになります。 ・就職部の実施する就職ガイダンス・各種模擬試験・インターンシップなどの活動に積極的に参加しましょう。		
オフィスタイム	各担当教員の指示に従ってください。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション－キャリアデザインの意義と目的	本講義の目的・意義・内容・計画を理解した上で、「キャリア」とは何か、「キャリアをデザインする」とはどういうことかを考えます。	自己評価票を真摯に記入し、現時点での自分をよく観察してみましょう。	60
2	郡山女子大学を知ろう－建学の精神と学園の歴史	学園の歴史と建学の精神の基本的な考え方を解説します。	大学のホームページや図書館で『学園史』を手に取ったり、集会などで学科の先生と建学の精神について話し合ってください。	60
3	「つくる力」を育てる(1)－情報を読む力・まとめる力	講義から情報を読む力（聴く力・ノートにまとめる力）をトレーニングします。	講義を聞く姿勢、ノートの取り方の基本は同じでも、詳細は科目によって異なります。自分でも工夫を心掛けてみましょう。	60
4	「つくる力」を育てる(2)－書く力・伝える力の育成	レポートの書き方を手掛かりに事実と意見の違いや「きちんと考える」ことの必要性を確認します。	新聞や参考文献、友人や家族と話し合ってみて、レポートの構成を良く考えましょう。	120
5	「つくる力」を育てる(3) －社会でのパソコン活用マナー	メール作成の方法、添付ファイルの方法、パソコンによるレポート作成の方法を基礎から学びます。	パソコンを用いてレポートを書いた後、提出前に必ず読み直しをして「推敲」しましょう。	120
6	「かかわる力」を育てる(1) －お金から考えるライフプランニング	長いキャリアを生きる中で、私たちは多くのライフイベントを経験し、生活共同体の中での役割を変化させていきます。その時々の状況をお金の面から考えます。	講義の後、自分自身や家族の貯金・保険・年金などについて実際に具体的な話をしてみましょう。	60
7	「かかわる力」を育てる(2) －働くためのルール	労働法の基礎知識から働く上での諸問題への対応方法を考えます。	講義の後、自分自身のアルバイト経験や家族の働き方について話をしてみましょう。	60
8	「かかわる力」を育てる(3) －女性のキャリアモデルを知ろう！①　講演	素敵な生き方を実践している外部講師による講演を実施します。	講演を傾聴し、講演後はSNSや新聞などで講演者や時代などについて調べてみましょう。もっと多くのモノが見えてきます。	60
9	「かかわる力」を育てる(4) －女性のキャリアモデルを知ろう！②　グループ討論	前回の外部講師の講演を踏まえて討論し、レポートを作成します。	授業時間だけでなく、友人とレポート執筆を念頭に是非意見交換をして下さい。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	「かかわる力」を育てる(5) －多様化する生活とワーク・ライフ・バランス	女性のライフコースの多様な選択肢をワーク・ライフ・バランスに着目して考えます。	現時点の自分の考えを確認すると共に、家族や友人と意見交換をして、異なる意見に沢山出会ってください。	60
11	「かかわる力」を育てる(6) －働き続けるための支援	出産・育児や介護と雇用労働を両立させるための制度を学びます。共働き増加の背景や課題なども考えます。	共働き夫婦が利用すると助かるサービスとして何がありましたか? そのサービスの利点や欠点も考えてみましょう。	60
12	「かかわる力」を育てる(7) －「自分」と「社会」との結びつき	PM理論やソーシャルスキルを学び、社会（集団）の中で適応的に「個人」として生きることについて考察します。	学校生活だけでなく、家庭や友人関係、サークル活動、アルバイトなど多様な集団と個人の関係を考えてみましょう。	60
13	「かかわる力」を育てる(8) －アサーショントレーニング①	堂々と自分の意見を述べるために必要なアサーションの考え方の基本を学びます。	アサーションは、自分自身が考え納得して行動することが大切です。表面的なテクニックだけでなく、よく自分の内面と向かい合ってみてください。	60
14	「かかわる力」を育てる(9) －アサーショントレーニング②	アサーションの技術を向上させる。Ｉ・Youメッセージを学びます。	アサーションは、自分自身を守るためだけでなく、相手のことを考えることに繋がります。周りの人とよく話し合ってみましょう。	60
15	まとめ　－自分のキャリアを創ろう！	自己評価票の記入・授業アンケートを実施し、「マンダラチャート」を作成して各自のキャリアプランの作成を試みます。	初回の自己評価票とじっくり比較すると共に、「マンダラチャート」で次の具体的な一歩を明確にしましょう。	60

令和4年度

科目名	キャリアデザインⅡ	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科　1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択
担当教員	森　みい		
開講期	Ⅰ		
授業概要	【授業のねらい】⊠ 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。 ⊠ ⊠ 【授業の概要】⊠ インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（3日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。⊠ 担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し就職指導にあたっております。企業と学生の状況を把握しながら、就職支援には長く携わり、希望に添った将来のキャリアを築く支援をしています。⊠ GU1122		
達成目標	【授業終了時の達成目標】⊠<br　インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、今後の学生生活の中に活かしていくことで、新たな学習意欲の契機となることをことを目標とします。仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解、責任の重さや成し遂げる充実感や社会への貢献を感じ取る事を目的とします。論理的思考力を身につけ、いつも明るく笑顔で目標を高く持ち、努力を惜しまない人物を育成します。2		
受講資格	特になし	成績評価 方法	就業体験６０％・報告会20％・提出物20％⊠ 「認」評価判定
教科書	なし		
参考書	なし		
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
オフィスタイム	月曜日９:００～12:30　水曜日 9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要⊠ 4/14(Ｖコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターンシップに必要な書類についての確認する 。	就業体験先の希望調査があるので、企業・⊠業界研究をしておく。 ⊠ インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え⊠ ４/21(Ｖコマ)	昨年のインターンシップを参考に自分は何を学びたいのか明確な目標を設定していく。	インターンシップを通して、企業や業界の働きについて考える。	30
3	インターンシップの心構え⊠ 5/19(Ｖコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップは具体的にどのように⊠考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
4	企業研究（講演)⊠ 6/2（Ｖコマ）	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていくか、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
5	事前指導⊠ (ビジネス文書作成)⊠ 6/16Ｖコマ）	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナマーを確認しておく。	30
6	事前指導⊠ （マナー講座)⊠ 6/30（Ｖコマ）	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。⊠ 就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、⊠印象のいいマナーを日常から意識をして練習する。	30
7	直前指導⊠ (インターンシップ先の企業研究)7/14（Ｖコマ）	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ 実施⊠ 1班8/22～8/24⊠ 2班8/29～8/31	各企業において、夏季休業中（8月中旬～下旬)に3日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	インターンシップ報告会☒ 9/5　（Ⅰコマ）	事後報告会として、クループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30
10	インターンシップ報告会 ☒ 9/5 （Ⅱコマ）	事後報告会として、代表者の報告を企業の方も参加して実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会で発表し、報告者の発表から課題を考えていく。	30